



「SAGA 建設技術フェア 2023」に出展

日本製鉄株式会社(以下、日本製鉄)は、6月14日から6月15日の2日間、SAGA プラザ(総合体育館)大競技場で開催される「SAGA 建設技術フェア 2023」(公益財団法人佐賀県建設技術支援機構主催)に出展します。「SAGA 建設技術フェア 2023」は、建設分野(土木・建築)の技術・工法・製品などについて産学官における技術情報の交流の場を提供し、建設分野の技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、高校生・大学生を含む一般の方々に建設業界の魅力や社会資本整備の必要性について理解を深めてもらうことにより、建設産業の発展に寄与することを目的としています。

九州地区では、令和4年台風第14号による災害からの復旧工事が進む中、近年では毎年のように集中豪雨などの水災害が頻発・激甚化しており、加えて巨大地震・津波などの自然災害への対策も不可欠になっています。これに対して、政府・自治体で進められている「防災・減災、国土強靱化」施策が加速化され、インフラや建築物などの防災対策や老朽化対策のニーズが一層高まっています。

本技術展において、日本製鉄は「防災に関する技術」をテーマに、需要家の皆様のニーズの高い「工期短縮・省力化」、「コスト削減」に応える製品・工法を提案します。さらに、日本製鉄が新たに立ち上げた建設ソリューションブランド「ProStruct®」(プロストラクト)のコンセプトに基づく、ハット形鋼矢板、鋼管杭を用いた建設市場の課題に答える「鋼材×利用技術」パッケージ(ソリューション)も紹介します。

【ProStruct®の商品一例：鋼管杭×環境配慮型工法(NSエコパイル工法®)】

鋼管杭×環境配慮型工法 (NSエコパイル®工法)

道路・鉄道 建築物 強く・安全 使いやすく・確実 環境にやさしく・持続的

高い強度・変形性能を有する「鋼管杭」の先端に「螺旋状の羽根」を取り付け回転圧入することで、無排土・低振動・低騒音施工により環境負荷の低減を実現するソリューションです。



鋼管杭(先端羽根付き鋼管)



環境配慮型工法(NSエコパイル®工法)

(旧建設大臣認定 建設省東住発第238号、特許第7036301号)

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動(「産業と技術革新の基盤をつくろう」「住み続けられるまちづくりを」)を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative

(参考情報)

- 「SAGA 建設技術フェア 2023」 ホームページ

<https://www.sagacat.or.jp/fair.html>

- 建設ソリューションブランド「ProStruct®」 紹介ページ

<https://www.nipponsteel.com/product/prostruct/>

以上

お問い合わせ先 : 総務部広報センター 電話 03-6867-3419

Make Our Earth Green  NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative
NET ZERO